

誤

(P.16-26~27)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
7. 下路盤工 (歩道・路肩を含む)	施工	必須	現場密度の測定	舗装調査・試験法便覧 [4]-185 砂置換法 (JIS A 1214) X10 95%以上 X6 96%以上 砂置換法は、最大粒径が3mm以下の場合のみ適用できる	(車道部) 個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上 X10 95%以上 X6 96%以上 X3 97%以上 (歩道・路肩部) 最大乾燥密度の90%以上	(車道部) ・交通量区分N6以上の場合実施する。 2,000m ² 未満は3個(孔)、 2,000m ² 以上は6個(孔)実施する。 (歩道・路肩部) 1工事につき3個(孔)実施する。	(車道部) ① 縮固め度について、測定値の平均が合格判定値の範囲外に出た場合は2,000m ² 未満はさらに3個(X6)2,000m ² 以上はさらに4個(X10)追加しこれが合格判定値の範囲内であれば良い。 ② 300m ² 以下の工事は除く。 (歩道・路肩部) 縮固め度について、測定値の平均が合格判定値の範囲外に出た場合は、さらに3個(X6)追加しこれが合格判定値の範囲内であれば良い。	
			ブルーフローリングの測定	舗装調査・試験法便覧 [4]-210	目視による変形等の測定	・全幅、全区間で実施する。	荷重車については、施工時に用いた転圧機械と同等以上の縮固効果を持つローラやトラック等を用いるものとする	
			平板載荷試験	JIS A 1215	180 (MN/m ³)	2,000m ² 未満は3回、 2,000m ² 以上は6回実施する。		
			呈色判定 (スラグのみ)	舗装調査・試験法便覧	呈色しないこと (吸光度0.05以下)	山前日の試験報告書で確認する。		
			水浸膨脹比 (スラグのみ)	舗装調査・試験法便覧	1.5%以下			

正

(P.16-26~27)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
7. 下路盤工 (歩道・路肩を含む)	施工	必須	現場密度の測定	舗装調査・試験法便覧 [4]-185 砂置換法 (JIS A 1214) X10 95%以上 X6 96%以上 砂置換法は、最大粒径が3mm以下の場合のみ適用できる	(車道部) 個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上 X10 95%以上 X6 96%以上 X3 97%以上 (歩道・路肩部) 最大乾燥密度の90%以上	(車道部) ・交通量区分N6以上の場合実施する。 2,000m ² 未満は3個(孔)、 2,000m ² 以上は6個(孔)実施する。 (歩道・路肩部) 1工事につき3個(孔)実施する。	(車道部) ① 縮固め度について、測定値の平均が合格判定値の範囲外に出た場合は2,000m ² 未満はさらに3個(X6)2,000m ² 以上はさらに4個(X10)追加しこれが合格判定値の範囲内であれば良い。 ② 300m ² 以下の工事は除く。 (歩道・路肩部) 縮固め度について、測定値の平均が合格判定値の範囲外に出た場合は、さらに3個(X6)追加しこれが合格判定値の範囲内であれば良い。	
			ブルーフローリングの測定	舗装調査・試験法便覧 [4]-210	目視による変形等の測定	(車道部) 全幅、全区間で実施する。 (歩道・路肩部) 実施しない。	荷重車については、施工時に用いた転圧機械と同等以上の縮固効果を持つローラやトラック等を用いるものとする	
			平板載荷試験	JIS A 1215	180 (MN/m ³)	(車道部) 2,000m ² 未満は3回、 2,000m ² 以上は6回実施する。 (歩道・路肩部) 実施しない。		
			呈色判定 (スラグのみ)	舗装調査・試験法便覧	呈色しないこと (吸光度0.05以下)	山前日の試験報告書で確認する。		
			水浸膨脹比	舗装調査・試験法便覧	1.5%以下			

誤

(P.18-2) : ホームページ公表のみ

材 料 使 用 届 (I)

年 月 日

_____ 殿

受注者 住所 _____
 商号 _____
 現場代理人 氏名 _____

工事番号	
施工場所	

工期 年 月 日 から
 年 月 日 まで

使 用 材 料 名 称	規 格	単 位	数 量	産 地 又 は 製 造 工 場	添 付 書 類	備 考

本工事について、上記の材料使用を承諾します。
 なお、配合等期限を過ぎて使用する場合、又は製造工場等に変更のある場合は再届出すること。

年 月 日

監督員 _____ 印
 監督員 _____ 印

正

(P.18-2) : ホームページ公表のみ

材 料 使 用 届 (I)

年 月 日

_____ 殿

受注者 _____
 現場代理人 _____ 印

下記の通り使用材料を提出いたします。

工事番号		施工場所	工期	年 月 日 から 年 月 日 まで
工事名				

使 用 材 料 名 称	規 格	単 位	数 量	産 地 又 は 製 造 工 場	添 付 書 類	備 考

本工事について、上記の材料使用を承諾します。
 なお、配合等期限を過ぎて使用する場合、又は製造工場等に変更のある場合は再届出すること。

年 月 日

監督員 _____ 印
 監督員 _____ 印

誤

(P.22-4~6)

(省略)

正

(P.22-4)

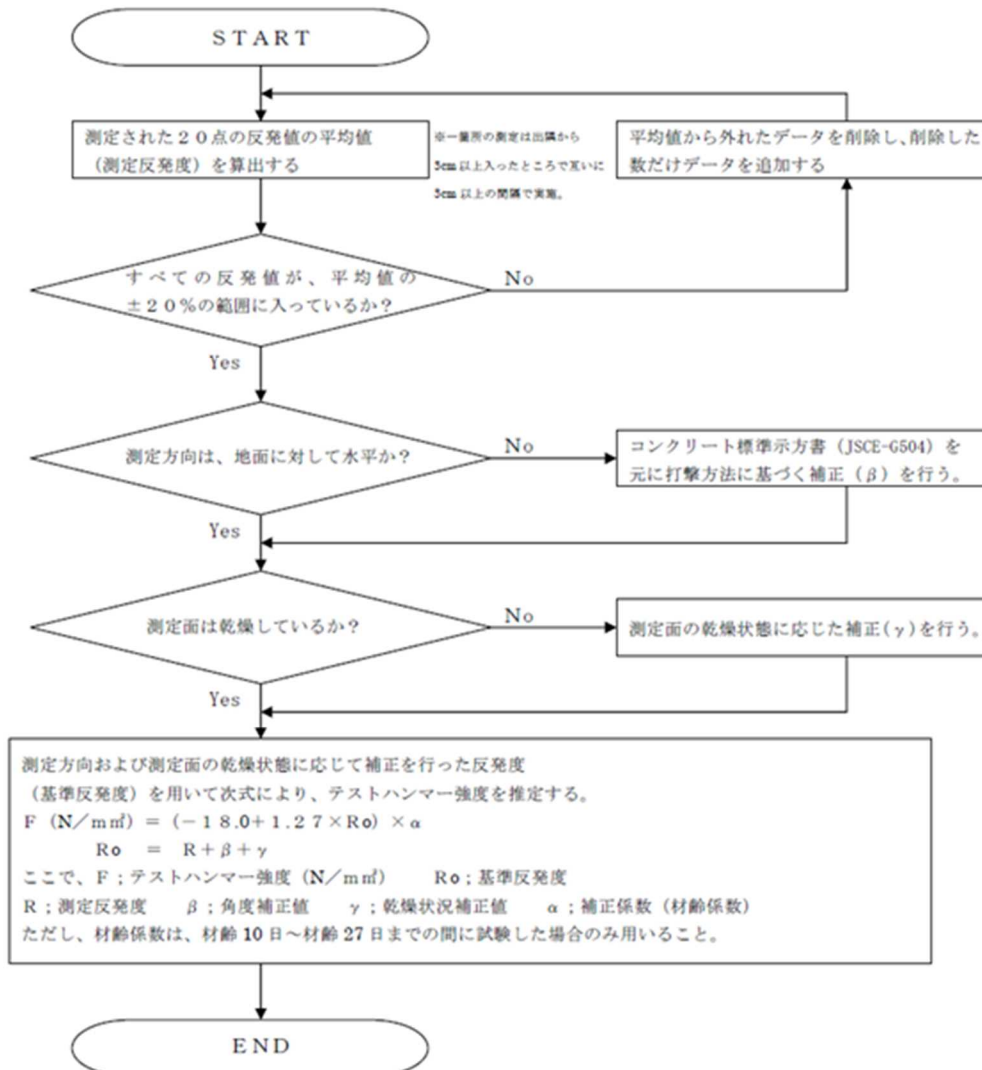
テストハンマーによるコンクリート強度推定調査要領について

本推定方法は、2007年制定コンクリート標準示方書[規準編]の「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法(案)」(JSCE-G504-2007)及び独立行政法人土木研究所が平成13年12月20日に発表した「テストハンマーによる強度推定調査の6つのポイント」を参考に作成したものである。

本県土木部発注工事において品質管理試験を行う場合、本要領を参考に実施願います。

1. 強度の推定方法

- 茨城県土木部では、次の方法でテストハンマー強度を算出します。



(次頁へつづく)

■テストハンマー強度試験に係る補正値は、次のイ)～ハ)のとおりである。

イ) 角度による補正値 (β)

- ・測定面に対して打撃方向が水平でなかった場合は、コンクリート標準示方書 (JSCE-G504) を元に補正を行う。

ロ) 乾燥状況による補正値 (γ)

- ・測定装置のマニュアルに補正方法が記載されている場合は、これに従う。
- ・補正方法が定かではない場合は以下の方法でもよいものとする。
 - (1) 測定位置が湿っており打撃の跡が黒点になる場合 → 測定された反発度に補正値 3 を加える。
 - (2) 測定位置がぬれている場合 → 測定された反発度に補正値 5 を加える。

ハ) 材齢による補正値 (α)

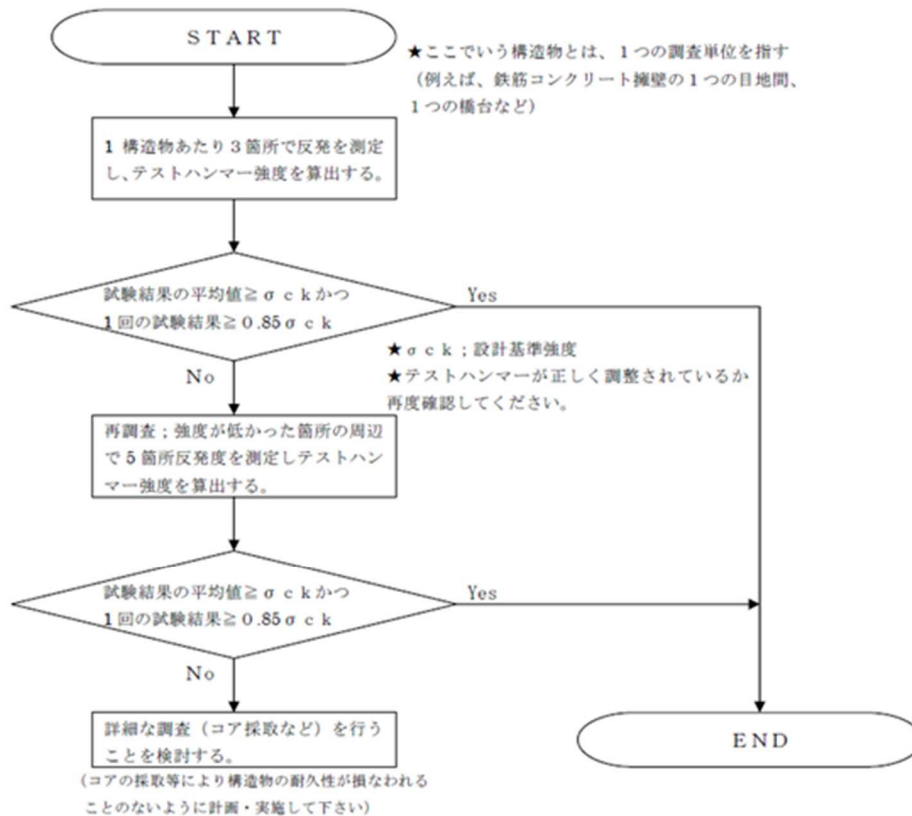
- ・テストハンマー強度試験は、材齢 28 日～91 日の間で測定することを原則とし、この範囲外での測定が避けられない場合には、次の補正係数 (材齢係数: α) を用いて評価する。
 - (1) 材齢 9 日以前の測定は、実施しない。
 - (2) 材齢 10 日で試験を行う場合は、算出された推定強度を 1.55 倍して評価する。
 - (3) 材齢 20 日で試験を行う場合は、算出された推定強度を 1.12 倍して評価する。
 - (4) 材齢 28 日から、材齢 91 日に試験を行う場合には、補正を行わない。
 - (5) 材齢 10 日から材齢 28 日までの間で、上に明示していない場合は、前後の補正値を比例配分して得られた補正値を用いて評価する。
- * 大気中にあるコンクリートは、表面から徐々に乾燥し、その影響からごく表面の部分のみが固くなる場合があり、材齢が大きいくほど誤差が大きくなることもあるので、材齢の規定を設けていますが、材齢 92 日以降については、そのことを踏まえ、補正を行わないこととしますが推定値の取り扱いについては、十分注意する必要があります。
- * 補正係数 (材齢係数: α) 換算表

材齢 (日)	補正係数 (材齢係数: α)	材齢 (日)	補正係数 (材齢係数: α)
10	1.550	20	1.120
11	1.507	21	1.105
12	1.464	22	1.090
13	1.421	23	1.075
14	1.378	24	1.060
15	1.335	25	1.045
16	1.292	26	1.030
17	1.249	27	1.015
18	1.206	28	1.000
19	1.163		

(次頁へつづく)

2. 推定結果の評価方法

- 次の方法でテストハンマー強度に基づくコンクリート品質評価を行います。



<注意事項>

- ①点検された測定装置を用いること。(テストハンマーを繰り返し使用すると、内部に金属粉などのゴミが付着することがあり、測定値に誤差が生じますので、試験前の点検を行うこと。2000回程度の打撃を目安とする。)
- ②テストハンマーの整備は、自分で行わず必ず信頼できる整備者に依頼すること。
- ③高強度コンクリートや高流動コンクリートは、材料学会の提案式を用いて強度の推定を行うことの妥当性がないため、注意が必要です。また、プレストレストコンクリート構造物はテストハンマーによる強度推定調査は対象外です。
- ④コンクリートが打撃方向に直角な圧縮応力を受けている場合及び水中養生を継続したコンクリートを乾かさずに測定した場合は、コンクリート標準示方書 (JSCE-G504) を元に補正を行う。